

いくだみ

県立長崎図書館だより

No. 157
2008年8月

ながさき おはなしフェスティバル in とぎつ

1,800人の参加者を得て、多くの子どもたちの笑顔いっぱい

4月27日(日)、西彼杵郡時津町の「とぎつカナリーホール」を会場として「ながさきおはなしフェスティバル in とぎつ」を開催しました。

この大会は、「子ども読書の日」を記念し、長崎県の子ども読書活動の推進を図ることを目的として、平成15年度から長崎市、佐世保市、島原市、諫早市と県内を巡回し、本年は西彼地区での開催となりました。

午前の部は、「おはなしの部屋」を7会場で開催し、地元の小中高生やボランティアによる絵本の読み語りや人形劇等の多彩な催し物に多くの子どもたちが目を輝かせていました。会場は読み手と聞き手の熱気であふれ、共に充実した時間を作り上げていました。



午後の部は、詩人で絵本作家でもある長田弘さんを迎え、「本の秘密、本の魅力」をテーマに講演していただきました。

長田さんは、「人間は本のような」とお話しされ、意味深く共感するお話が数多くあり、受講された方も「本」について再考できる時間を共有することができたと感じました。

ご協力いただきました図書館関係の方や図書ボランティアの方々に対し、深く感謝申し上げます。

もくじ

- ながさきおはなしフェスティバル in とぎつ P1
- 県立長崎図書館長「新任館長として」..... P2
- 第1回図書館講座 P2
- 雑誌・論文記事の検索方法 P3
- 「長崎県立長崎図書館古典籍目録」の刊行 P3
- 「郷土学習セット」及び催し物のご案内 P4



で



新任館長として



これからの図書館に求められる役割について

公立図書館を取り巻く環境については、地方財政の悪化に伴い全国的に大変厳しい状況にある。一方、図書館に關係する法律等の制定や生涯学習社会の進展により、県民のニーズが拡大する方向にある。

平成13年に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が、平成17年に「文字・活字文化振興法」が公布・施行された。併せて「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準」が平成13年7月に施行されている。

また、高齢化社会の進展に伴い、多くの県民の方々に健康で生き甲斐のある生活の実現のため、知的欲求や生活向上の欲求を支援する役割も求められている。

これらの流れの中で公立図書館に大きな役割が求められ、特に生涯学習社会の中核的施設としての機能の向上が図られなければならないと考える。このためには、全国の図書館組織が連携、協力し住民サービスを実施しなければ、そのニーズに応えられない。県立図書館は県内の公立図書館、大学等図書館及び他県の公立図書館や国立国会図書館とネットワーク化を図り、ハブ図書館の役割を通じて、行政支援、学校教育支援、ビジネス支援、子育て支援など地域の課題解決や県民が日常生活を送るうえでの課題解決に必要な資料や情報を提供する課題解決支援機能の充実が求められる。

そのためにこれから何が出来るか、予算が縮小する中で職員の意識改革も含めて取り組まなければならない。

話は変わるが、私の叔母が今年米寿で元気に一人暮らしをしている。趣味は読書で公民館の図書室に歩いて借りに行き、本の内容で重要な部分は必ず書き取っている。時事問題にも明るく的確な判断をする。頭脳明晰である。この叔母の生き方に戦中、戦後の厳しい時代を生き抜いた強さを感じる。

禅の言葉に「生也全機現、死也全機現」とある。私の理想とする生き方である。

第1回図書館講座

対談「白石一郎を語る ～親友と息子の対話～」を開催

4月10日から6月22日まで、「白石一郎展」を開催しました。この文学展と連動して、6月7日（土）本館講堂において、親友で元長崎県教育長の伊藤昭六氏と、ご長男で作家の白石一文氏を招き、図書館講座を開催しました。

高校時代からの親友である伊藤氏は終生変わらぬ友情を、一文氏は父として作家としての日常生活を忌憚なく語ってくださいました。お二人が語る数々のエピソードが不思議にも一致しており、白石一郎という人物像を浮かび上がらせました。



約90名の受講者がありましたが、会場からも活発に質問があり、文学の香り豊かな、充実した講座となりました。受講者からも大変好評で、次のような感想が寄せられました。

「作家白石一郎の知らなかった部分『人間白石一郎』の姿が、お二人の語りによって、生き生きとよみがえった気がします。これから白石作品を読み返す時に、また違った点から作品に触れることができると思います。本日は素晴らしいお話をありがとうございました。」などです。

次回の図書館講座もご期待ください。

雑誌・論文記事の検索方法

ターネットで検索したり、
報を探したことはあり
も揃えてあるので過去

次に読みたい記事や論文を見つけたら当館のパソコンで所蔵しているかどうか検索してみてください。当館に所蔵していればすぐにご利用いただけます。所蔵していなかったら他の図書館からその記事のコピーを取り寄せることも可能です。役立つ情報が見つかるかもしれません。ぜひ一度利用してみてください。

雑誌約150誌に加え、全国の主要新聞73誌からも記事を検索することができます。他の雑誌記事データベースと合わせて利用すると多彩な記事を収集することができます。

互助文庫「郷土学習セット」のご案内

～郷土長崎への理解を深めよう～

県立長崎図書館では、「互助文庫」として県教職員互助組合から寄贈いただいた長崎県に関する図書を文学、歴史、原爆などの分野と年代別（小学生・中学生・高校生・一般向け）とに分け、それぞれ40冊を1組とした「郷土学習セット」を貸し出しています。先生方の教材研究や児童・生徒の皆さんの調べ学習、朝の読書活動などに、また県民の皆様の生涯学習の資料としてぜひご活用ください。

詳しい「郷土学習セット」の内容と利用方法については本館ホームページをご覧ください。

利用された学校・図書館から

- ◎学校図書館では揃えられない豊富な参考文献が、テーマに沿って揃っており、8月の平和集会に向けて生徒たちの準備に大変有効でした。（中学校）
- ◎平和学習の一環として平和ブックリストづくりに取り組み、生徒それぞれが「私が選んだ平和図書」というレポートにまとめ、学級で紹介しました。（中学校）
- ◎学校図書館のミニコーナーに展示し、生徒に手にとって見てもらいました。調べ学習の時などには心強い資料だと思います。（高校）
- ◎4月の「子ども読書週間」に合わせて館内に展示し、子どもたちに絵本や読み物を紹介しました。（図書館）

郷土学習セット



催し物のご案内

第2回 県立長崎図書館講座

《日 時》平成20年9月6日（土）13:30～15:30
《場 所》県立長崎図書館 2階講堂
《内 容》対談「長崎を書く 長崎で書く」
活水女子大学教授 田中俊廣 氏
作 家 青来有一 氏

第3回 県立長崎図書館講座

《日 時》平成20年11月1日（土）13:30～15:30
《場 所》県立長崎図書館 2階講堂
《内 容》対談「美を求めて
～版画の魅力・橋口五葉の世界～」
版 画 家 小崎 侃 氏
山本美術館長 山本直希 氏

今後の「長崎ゆかりの文学展」

《場 所》県立長崎図書館 4階郷土資料展示室
《時 間》9:30～17:00（ただし休館日を除く）
《内 容》「原爆文学を中心に」
（平成20年8月20日～9月21日）
「佐多稲子没後十年展」
（平成20年10月1日～12月26日）
「収蔵品展」※詳細は未定
（平成21年1月10日～3月22日）

県立長崎図書館こども大会

《日 時》平成20年12月13日（土）13:30～15:30
《場 所》県立長崎図書館 2階講堂
《内 容》人形劇、おはなし会